

## 1 平成21年度第2回愛知県生活習慣病対策協議会に出された意見の措置状況について

意見・要望	対 応
<p>特定健康診査やがん検診の精度管理において市町村格差が大きいところがあるので、改善へ向けての対策が必要である。</p>	<p>受診率等に大きく差のある市町村の実態を把握し、がん検診精度管理委員会の検討結果を踏まえ、精度管理を行っていきたいと考えております。</p>
<p>がん検診の受診率は、職場健診やドック健診も含めて評価する必要がある。</p>	<p>市町村のがん検診については、例年受診率を把握しているところですが、それ以外のがん検診については、国民生活基礎調査の結果や、独自の調査等により、参考として把握していきたいと考えております。</p>
<p>「健康日本21あいち計画」の評価は、これまでの取組みとの関連性をしっかり検証して、次期計画においてはより実効性の高い計画にすべきである。</p>	<p>今年度評価推進部会を立ち上げ最終評価を開始いたします。今回は単に評価を行うのみでなく、評価から次期計画策定へつなげていくため、改善が図られなかった点もその理由や目標の設定など分析・検証していきたいと考えています。</p> <p>こうした点から、部会は専門的な立場の方を構成員とし、本協議会の専門部会とも連携をとりながら、実践的かつ企画的に進めてまいりたいと考えております。</p>
<p>「健康日本21あいち計画」のPR方法についてはインターネットを活用するなど若い世代への啓発方法を検討していただきたい。</p>	<p>「健康日本21あいち計画」のHPを作成しインターネット上でも啓発を行っていますが、本年度から県民へ健康づくり情報の提供を行う「ヘルシーネット」を立ち上げるなど、県民のニーズに合ったIT活用をし、「あいち計画」の周知を図っております。</p>

<p>「肥満」だけでなく「やせ」も問題である。「標準的な理想体型」のボディイメージを正しく啓発する必要がある。</p>	<p>ご指摘のとおり「やせ」の方の問題は「肥満」と同じ程度重要と考えております。</p> <p>具体的には、昨年度行いました大学生への「食習慣等生活習慣調査」の結果では、BMIによる判定で「普通」だった学生の約半数が、自己による判定では「太っている」「少し太っている」と回答しています。</p> <p>「やせ」への対策は貧血や高齢期における骨粗しょう症との関連からも、欠かすことができないところであり、本年度作成します大学生等への予防啓発コンテンツにおいて取り入れたいと考えております。また併せて効果の上がる啓発について、いつの時点にどのような方法が精度の高いPRとなるかを検証し、展開してまいります。</p>
<p>子どもの頃からの健康づくりにもっと目を向けていくべきである。学校教育だけでなく、できるだけ早い時期からの対策を推進してほしい。</p>	<p>現在、モデル事業ではありますが、碧南市で学童期の生活習慣病に関する介入調査を実施しておりますと、学校保健と連携して健康づくりを進めることは極めて重要と考えております。本事業は今年度最終年度にあたるため、一定のまとめを行う予定です。</p> <p>これらの結果を踏まえ、学童期への対策を推進し、学校保健との連携を強化していくとともに、さらに全世代にわたる対策へと、踏み込んで展開してまいります。</p>
<p>生活習慣病なので食や環境など街づくりの視点で健康というものを考え、他部門との連携をもっと推進していただきたい。</p>	<p>愛知県では「食育推進協議会」におきまして、食と生活習慣をすべてのライフスタイルの原点と捉えて、生まれてから死ぬまでのモデルを示しております。</p> <p>この考え方をさらに街づくりに拡大していくことは、求められる行政として必要なことと考えております。</p>
<p>病気が減っているかどうかという評価が求められている。罹患率の情報を把握するシステムづくりをお願いしたい。</p>	<p>従来の循環器疾患登録事業に変え、特定健康診査の結果の分析過程から循環器疾患についても分析を行い、把握していくこととしていますが、各保険者に協力を働きかけ、得られる特定健康診査のデータ数を増やし、分析の精度を上げ罹患率を把握するように努めたいと考えております。</p>

## 2 構成員から事前に出された意見の措置状況について (1)

<p>予防・保健の意味合いから啓発が重要に思われるが各種団体への呼びかけの現状と今後の方針を教えてください。</p>	<p><b>【現状】</b></p> <p>健康日本21あいち計画（健康増進計画）では、平成13年の策定当初から、行政機関、医療保険者、保険医療機関、教育関係機関、企業、ボランティア団体にも県民の健康づくりへの支援を求めるものとし、これまで推進を進めてきております。</p> <p>また「あいち健康の森」を拠点に県民の主体的な健康づくりを総合的に推進しております。ここでは、健康づくり支援の中核施設である「あいち健康プラザ」において、ITを活用した情報の発信や啓発活動を行うとともに、毎年9月に「あいち県民健康祭」を各種団体、協会、企業など約25もの組織の協賛、協力で開催しております。</p> <p><b>【今後】</b></p> <p>各種団体との連携体制を強化しつつ、県民にわかりやすいメッセージ性の高い啓発活動を展開してまいります。</p>
--	--

### 参 考

「あいち県民健康祭」関係団体(平成21年度)

◎主催／

●愛知県 ●(財)愛知県健康づくり振興事業団

◎協賛／

●(社)愛知県医師会 ●(社)愛知県歯科医師会 ●(社)愛知県歯科衛生士会  
 ●(社)愛知県薬剤師会 ●愛知県国民健康保険団体連合会 ●(財)愛知県腎臓財団  
 ●(社)愛知県看護協会 ●(社)愛知県調理師会 ●(社)愛知県栄養士会  
 ●日本赤十字社愛知県支部 ●(社)愛知県鍼灸師会 ●日本女医会愛知県支部  
 ●愛知県食生活改善推進員連絡協議会 ●愛知県健康づくりリーダー連絡協議会  
 ●(財)愛知県都市整備協会 ●(社)愛知県臨床衛生検査技師会 ●(株)NTT データ  
 ●(株)スズケン ●フジパン(株) ●(株)八神製作所  
 ●(株)元気の郷 ●富士通(株) ●(社)名古屋薬業倶楽部  
 ●(株)ココストア

◎協力／愛知県レクリエーション協会

(2)

<p>現在学校においてどのような教育が生活習慣についてなされているのかを教えてください。</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・ 小学校高学年</li><li>・ 中学校</li><li>・ 高等学校</li></ul>	<p>健康づくりは子どもの時期からの意識付けが大切であり、それを学校教育で行うことが効果的であると承知しています。現在学校現場では別紙（資料）のとおり、学習指導要領等に基づき保健教育がなされております。</p>
--	---

## 1 小学校体育科・保健領域の学習指導要領（一部抜粋）

【第3学年・第4学年】	【第5学年・第6学年】
<p>(1) 毎日の生活と健康</p> <p>ア 健康な生活とわたし</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 健康の状態は、主体、環境がかかわっている</li> </ul> <p>イ 1日の生活の仕方</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 食事・運動・休養及び睡眠の調和のとれた生活</li> <li>○ 1日の生活の仕方</li> <li>○ 手や足、衣服の清潔</li> </ul> <p>ウ 身の回りの環境</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 部屋の明るさや換気</li> <li>○ 生活環境を整える</li> </ul> <p>(2) 育ちゆく体と私</p> <p>ア 体の発育・発達</p> <p style="text-align: center;">【略】</p> <p>イ 思春期の体の変化</p> <p style="text-align: center;">【略】</p> <p>ウ 体をよりよく発育・発達させるための生活</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 調和のとれた食事、運動、休養及び睡眠</li> </ul>	<p>(1) 心の健康</p> <p style="text-align: center;">【略】</p> <p>(2) けがの予防</p> <p style="text-align: center;">【略】</p> <p>(3) 病気の予防</p> <p>ア 病気の起こり方</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 病原体、体の抵抗力、生活行動、環境などかわりあっておこる病気</li> </ul> <p>イ 病原体がもとになって起こる病気の予防</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 発生源をなくす、道すじを断ち切る予防</li> <li>○ 予防接種、体の抵抗力を高める予防</li> </ul> <p>ウ 生活行動がかかわって起こる病気の予防</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 健康によい生活習慣を身に付ける</li> </ul> <p>エ 喫煙、飲酒、薬物乱用と健康</p> <p>(ア) 喫煙、飲酒の心身への影響</p> <p>(イ) 薬物乱用の心身への影響</p> <p>オ 地域の様々な保健活動の取組</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 病気の予防のための様々な保健活動の取組</li> </ul>

## 2 中学校保健体育科・保健分野の学習指導要領（一部抜粋）

【第1学年】	【第2学年】	【第3学年】
<p>(1) 心身の機能の発達と心の健康</p> <p style="text-align: center;">【略】</p>	<p>(2) 健康と環境</p> <p style="text-align: center;">【略】</p> <p>(3) 傷害の防止</p> <p style="text-align: center;">【略】</p>	<p>(4) 健康な生活と疾病の予防</p> <p>ア 健康の成り立ちと疾病の発生要因</p> <p>イ 生活行動・生活習慣と健康</p> <p>(ア) 食生活と健康</p> <p>(イ) 運動と健康</p> <p>(ウ) 休養及び睡眠と健康</p> <p>(エ) 調和のとれた生活と生活習慣病</p> <p>ウ 喫煙、飲酒、薬物乱用と健康</p> <p>(ア) 喫煙と健康</p> <p>(イ) 飲酒と健康</p> <p>(ウ) 薬物乱用と健康</p> <p>エ 感染症の予防</p> <p style="text-align: center;">【以下 略】</p>

## 3 高等学校保健体育科科目保健の学習指導要領の目標と内容（一部抜粋）

## 1 目標

個人及び社会生活における健康・安全について理解を深めるようにし、生涯を通じて自らの健康を適切に管理し、改善していく資質や能力を育てる。

## 2 内容

## (1) 現代社会と健康

我が国の疾病構造や社会の変化に対応して、健康を保持増進するためには、個人の行動選択やそれを支える社会環境づくりなどが大切であるというヘルスプロモーションの考え方を生かし、人々が自らの健康を適切に管理すること及び環境を改善していくことが重要であるということが理解できるようにする。

## ア 健康の考え方【略】

## イ 健康の保持増進と疾病の予防

健康の保持増進と生活習慣病の予防には、食事、運動、休養及び睡眠の調和のとれた生活を実践する必要があること。

喫煙と飲酒は、生活習慣病の要因になること。また、薬物乱用は、心身の健康や社会に深刻な影響を与えることから行ってならないこと。それらの対策には、個人や社会環境への対策が必要であること。

【以下 略】